

平成 27 年 7 月 31 日
埼 玉 県 農 林 部
JA グループさいたま

水稻の

高温対策を実施しましょう！

8月中旬まで高温の予報が発表されています。
今後、白未熟粒・胴割米が発生し品質が大きく低下する危険な状況です。
以下の対策を必ず実施しましょう。

対 策

1 葉色診断と穂肥の施用

白未熟粒の発生を軽減するために最も重要な対策は、葉色診断に基づく適期・適量の穂肥の施用です。

「彩のかがやき」の穂肥のラストチャンス

基肥＋追肥体系でも一発肥料体系であっても、出穂15～10日前に葉色が4を下回った場合には、必ず窒素成分2kg/10a程度の追肥を行いましょう。

2 水管理の徹底

この時期は最も水が必要です。穂肥施用時期～出穂後7日までは湛水状態を保ち、それ以降は、田に入水したら水口を閉めて断水し、自然に落水させる間断かん水を行い根の活力維持に努めましょう。

3 適期刈取

高温下では、登熟が一段と早く進行します。
特にコシヒカリについては、早期の落水を防止し、適期収穫を行いましょう。

暑くなる日は要注意

こまめな水分補給と朝夕の涼しい時間での作業をこころがけ、
熱中症を予防しましょう！

